



鷹番小学校

建 替 N E W S

vol. 03

2024年(令和6年)10月
発行：目黒区教育委員会

新校舎検討のための第三回地域懇談会を実施しました



第3回目黒区立鷹番小学校新校舎検討地域懇談会の様子 令和6年8月30日(金) 鷹番小学校のコンピューター室

第三回地域懇談会では、第二回に引き続き計画コンセプトと校舎の配置計画をテーマとしたグループワークを行いました。

設計コンセプトについては国や区の学校づくりに関する方針等をまとめた資料を参考に協議しました。

配置計画については第二回地域懇談会の議論をもとにした西側配置案と東側配置案の比較表を確認しながら議論を深めました。

校舎の配置は東側配置案が望ましいという意見を多くいただき今後の計画に反映していくこととしました。

計画コンセプトの検討

「こんな学校にしたい」「鷹番小はこんなところが良い」「複合化によってよくなる場所」などについてご意見をいただきました。

文部科学省の学校づくり	目黒区の学校づくり	鷹番小学校と鷹番住区			
- 令和の日本型学校教育の構築を目指して - 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について “Schools for the Future” 未来志向で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する 全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮 新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進 新しい時代の学び舎として目指していく姿(イメージ図)	基本構想・基本計画 実施計画 教育に関する大綱 目黒区子ども条例 子ども総合計画 新・放課後子ども総合プラン など めぐる学校教育プラン 学校施設更新計画 特別支援教育推進計画 など 「めぐる学校教育プラン」では、教育目標・基本方針に掲げる理念を学校教育を通して着実に実現していくための大きな目標として「目指す子ども像」と「目指す学校像」を定めており、目指す子ども像としては「21世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐるの子ども」、目指す学校像としては「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」としています。 地域避難所としての役割 学校施設は災害時において避難所としての重要な役割を担うため、トイレや防災倉庫、情報通信設備及び冷暖房設備などの防災機能の整備並びにバリアフリー化を図り災害時の利用者（災害時要配慮者を含む）にとっても優しい施設としていく。	「楽しさ(魅力・活力・信頼)あふれる学校」-誇りある公立学校- <table border="1"><tr><td>子ども 子どもが通うことを楽しみにできる学校</td><td>保護者・地域 信頼感・安心感のもてる学校</td><td>教職員 教職員が働く喜びを感じられる学校</td></tr></table> 学校施設の複合化に当たっての基本的な考え方 - 学習環境の高機能化・多機能化 - 児童・生徒と幼児や高齢者など多様な世代との交流 - 学びの場を拠点とした地域コミュニティの強化 - 学校の教育活動等を支える専門性のある人材の活用 - 住区も含め、建物全体を地域避難所としてとらえる 複合施設として、地域のコミュニティ活動の拠点施設に 老朽化	子ども 子どもが通うことを楽しみにできる学校	保護者・地域 信頼感・安心感のもてる学校	教職員 教職員が働く喜びを感じられる学校
子ども 子どもが通うことを楽しみにできる学校	保護者・地域 信頼感・安心感のもてる学校	教職員 教職員が働く喜びを感じられる学校			

計画コンセプトについてのご意見を紹介します

学校づくりへの想い

- 100年間持続可能な建物にしてほしい。
- 誰一人取り残さない教育が出来る環境にしてほしい。
- 多彩な学びや活動を創出する事こそ教育のあるべき姿。
- 施設に関わる全員が快適に過ごせる施設にしてほしい。
- 児童はビオトープが好きなので自然環境を豊かにしてほしい。

- 近未来的な建築のデザインより温かみのあるデザインが親しみやすい。



設計上の配慮

- 複合施設であるならば、小学校以外の用途のコンセプトも必要。
- 防災機能を充実してほしい。
- 学校と住区センターの管理区分を明確にすべき。



新校舎配置比較検討

配置計画に関しては、主に下記の点について議論を行いました。

工事中の学校生活

- ・工事期間
- ・移転の回数
- ・通学動線
- ・仮設校舎
- ・児童への影響 など

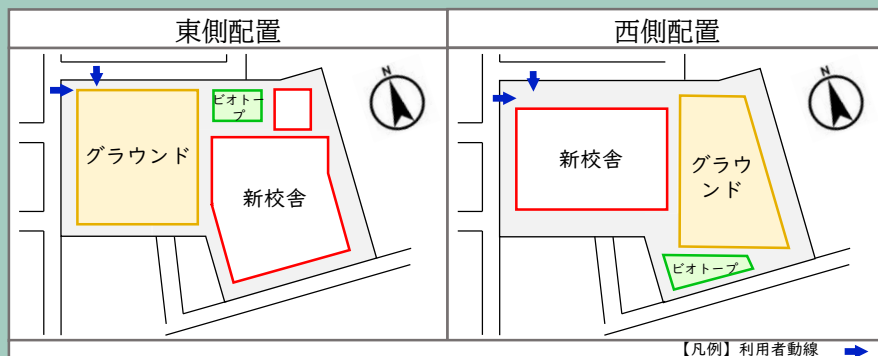
新校舎

- ・設計の自由度
- ・ビオトープの場所
- ・体育館の計画
- ・避難所 など

近隣への影響

- ・工事中の騒音・振動
- ・日影や圧迫感など

新校舎建設後の建物配置イメージ



■校舎建て替えの主な条件

- ・地域コミュニティの拠点として、小学校と鷹番住区センター、学童保育クラブを複合化します。
- ・施設全体を地域避難所として計画します。
- ・鷹番小学校の敷地は、建築基準法等により建物高さが制限され、学校のような高さ10m以上の建物を建設するには東西南北の敷地境界から建物を離す必要があります。また、近隣に及ぼす日影についても制約があります。
- ・仮校舎のための代替地の確保が困難なため、現在の鷹番小学校敷地内で建替えを進める必要があります。

工事期間について

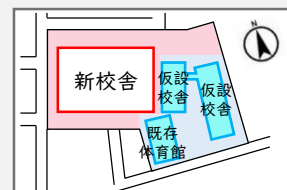
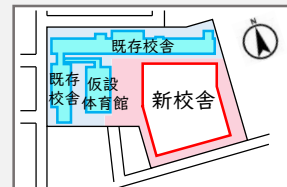
西側配置の場合には仮設校舎の建設や移転に時間を要することから、一年程度、新校舎完成までの期間が延びます。

東側配置の特徴

- ・仮設体育館の建設が必要です。
- ・工事中は既存校舎を活用します。
- ・整形な校庭が確保できます。
- ・ビオトープを敷地北側に確保できます。
- ・既存校舎の屋上の一部を運動スペースとして活用できます。

西側配置の特徴

- ・仮設校舎の建設が必要です。そのため東側配置に比べ新校舎を建設できるスペースが限られます。
- ・ビオトープを南側に大きく確保できます。



グループワークでは、それぞれの意見を付箋に書き、すべて模造紙に貼り付けて発表しました。最後に、模造紙に貼られた意見に対し、各自が良いと感じたものに「いいねシール」を貼りました。たくさん意見の中でシールが多く貼られたものを紹介します。



■東側配置案



- ・保護者としては工期の短さを最重視している。
- ・現校舎を生かしながら工事を進める事が出来る為、コストがかからない。
- ・設計の自由度が高い。
- ・工事車両の搬入経路がスムーズ。



- ・オープンスペースにする事でデメリットもあるのではないかな。
- ・正門から昇降口までが遠い。



- ・近隣住民の意見を聞き、配慮する必要がある。
- ・児童目線からの使いやすさが重要。
- ・ビオトープは大切にしていきたい。
- ・子どもの生活が第一。

■西側配置案



- ・ビオトープの位置が良い。
- ・既存配置に近いので近隣への影響が少ない。
- ・防犯性が良い。



- ・工期が長い。
- ・教育活動が制限される。
- ・日影規制上配置が難しい。
- ・引越しが大変。



他自治体の学校視察

■川崎市立小杉小学校



第四回地域懇談会は10月9日(水)19時から開催します。テーマは建物の平面計画で、より具体的な建築計画の議論に進んでいきます。



建替えの流れ (建築計画の進捗によって明確にしていきます。)

令和6年度 (2024年度) 令和7年度 (2025年度) 令和8年度 (2026年度) 令和9年度 (2027年度) 令和10年度 (2028年度) 令和11年度 (2029年度)

基本構想
基本設計

実施設計

建替え工事

鷹番小学校建替えに関して、ご意見・ご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

目黒区教育委員会事務局
学校施設計画課
担当 末永、加賀美、桑原
電話 03-5722-9307(直通)
FAX 03-5722-9333
E-mail kyoiku02@city.meguro.tokyo.jp